荏土自慢名産杖

京傳作
豊国画

特別
へ13
3000

特
門へ13
號3000
巻

昭和十年
三月十八日
購求

阿部家蔵書之印

在土自慢名産杖

阿部みのるとのごとくにて色が其ものしみを考らるとの筆ふるとの
戯作者のてきめそとさもおもへてもつれがおもひ谷川のふるゆそけるを
さぐれ紙ふぐ笑ふの場ふぐもあるかがこはいそへねむけぞ面の貢物
ひ貢ものの河内平記　ヨロ屋の者ぞ　ふるの紙のいろのまを年と。
山のごとくつみわけがんやおさくいのはのとそそろばんのみ計とまらけ面
庵の遊ぶ一ぱ文のふるはあのつたくはとそけそれ場の左りかすみ二
たん裏ふをとうふ安宅貢ふ右のうこれ祝戸とうら祿等とそろて山
筆あるゆ先ふふのはのふおれ十ふのの松ひざ吞れ考ふと祝一
ふの

文化二年乙丑春　作者山東京傳

月ぐろみちげ
のあんの
りこちう

奉
納

蛇
根
福

目黒名物
あハ餅

ちゃうちゃの意風
ちゃうちゃ花ひめ
わさひとに才と
やろーそおらせー

右 玉ゑ道
左 鶴野川道

玉まや
けの
粒水茶屋

曲亞國五
京傳戲作
酒中花
國十郎文